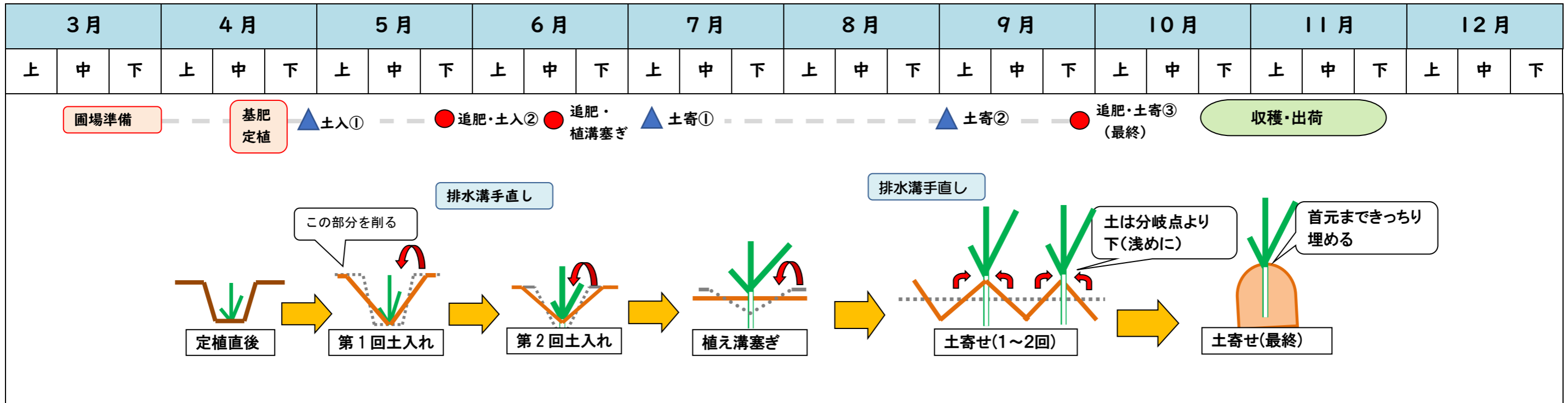


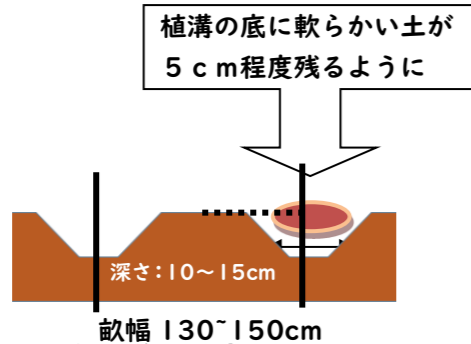
# <白ネギ栽培暦>秋冬どりの場合



## 1. 定植準備(圃場準備)

**!排水のよい圃場をえらびましょう!**

- (前年または定植1ヶ月前) 堆肥、土壌改良資材施用
- ↓
- (定植10日前)基肥施用
- ↓
- (定植当日)植溝づくり



- 耕うんは低速で行い、できるだけ土を深く細かくする
- 圃場には額縁排水溝を設置しましょう。

### 施肥基準

区分	肥料名	施肥量(kg/10a)	
		有機質肥料体系①	有機質肥料体系②
基肥	堆肥	2000	
	マグエース	120	
	ようりん	40	
	スーパーSRコート722	50 (N=8.5)	
追肥	夢ぼかし(有機アグレット)	40×3回 (N=7.2)	
	ペレット鶏糞		120×3回 (N=7.2)

## 2. 定植

### 1)定植苗のめやす

- 草丈15~20cm、葉数2枚程度
- 総畝長600m場合、約43枚/10a程度必要 (苗1箱で約14m定植できる)

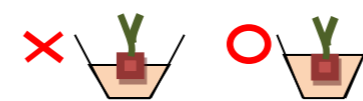
### 2)定植

- 溝の底に柔らかい土が5cm程度残るようにする。(少ない場合は畝の肩を落とす)
- 定植直前に苗にしっかり灌水(1リットル/箱程度)を行い、ペーパーポットが崩れないようにする。
- 定植後に次の様な状態の苗は、手直しを行う。
  - ・覆土が不十分でペーパーポットが見えるもの⇒活着不良の原因

- ・苗の傾いているポット⇒曲がりの原因

### ※「ひっぱりくん」の使い方

- ・苗箱のまま「ひっぱりくん」にのせる。
- ・案内板を苗箱の底にある紙の下に入れる。
- ・苗の先端(紙ポット)を引っぱり出し、溝の中心に棒などで止める。
- ・苗が垂直になるよう、ポットに土が覆土されるよう丁寧にゆっくり後ろ歩きしながら植える。



排水対策(梅雨入前、秋の長雨前など)  
水がきちんと流れるように、排水溝を手直しする

## 3. 除草管理

### (定植後)

- 除草剤を散布する。
- 散布は、土が湿った状態で行う。

### (生育期)

- 畝間は、管理機で中耕するか、除草剤を散布(※ネギにかからないよう注意)する。
- ネギの株間は、雑草が小さいうちに鍬等で手取り除草する。

## 4. 定植後の管理(土寄せ、追肥など)

作業内容	葉鞘径
定植	2~2.5mm
土入れ①	
土入れ②	8~10mm
植え溝塞ぎ	
土寄せ①	14mm以上
土寄せ②	
土寄せ③	18mm以上 25mmが理想

- 追肥は土入れ・土寄せ時に、土と混合しながら株元に寄せる。
- 細かい土を株元に軽く寄せる(→曲りネギ防止)
- 土寄せは襟首(えりくび)の下までとし、浅めにする。
- 雨天が続く日は土寄せを避ける(→軟腐病予防)
- 高温時は基本的に土寄せを避ける。どうしても土寄せが必要な場合は、朝夕の涼しい時間帯に実施する。(→軟腐病予防)

<基幹防除(例)> ※色が付いている時期に薬剤を散布する

病害虫・薬剤名		3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
除草剤	ゴーゴーサン乳剤				■																								
	トレファノサイド乳剤							■			■																		
	ナブ乳剤・ロロックス													雑草繁茂時															
害虫対策 <small>(主にネギハモグリバエ・ネギアザミウマ)</small>	粒剤 (土寄時) 基幹防除	ダントツ粒剤							■																				
		ベストガード粒剤										■																	
		ミネクトデュオ粒剤													■														
	液剤 (発生時)	ジュリボフロアブル (定植前苗箱灌注)				■																							
		アフーム・エクセラ顆粒水和剤										発生確認時																	
		ディアナ SC													発生確認時														
		カスケード乳剤(ドローン可)																■											
		ベネビア OD(ドローン可)													■						■								
		グレーシア乳剤																						■					
病害対策	粒剤 (土寄時) 基幹防除	モンカット粒剤(白絹病)										■																	
		オリゼメート粒剤(軟腐病)										■						■											
	液剤	トリフミン水和剤(萎凋病) (定植前苗箱灌注)				■																							
		ジマンガイセン水和剤(さび病)										降雨後予防																	
		アミスター20フロアブル(さび病)										発生時治療																	
		ヨネポン水和剤(軟腐病)																降雨後予防											
		バリダシン液剤5(軟腐病)													発生時に散布														
		パレード20フロアブル(白絹病)													発生時に散布														

※この他にも病害虫の発生状況に応じて殺虫・殺菌剤を施用する